

# 技術提案書作成例

(令和元年9月1日以降版)

## <目次>

1. 別記様式1	・・・	P 1
2. 別記様式2	・・・	P 2
3. 別記様式3-1	・・・	P 1 3
4. 別記様式3-2	・・・	P 1 4
5. 別記様式4-1	・・・	P 1 9
6. 別記様式4-2	・・・	P 2 1
7. 別記様式5	・・・	P 2 8
8. 別記様式6	・・・	P 2 9
9. 別記様式7	・・・	P 3 0
10. 別記様式8	・・・	P 3 1
11. 別記様式9	・・・	P 3 2

九州森林管理局

令和元年8月〇〇日

(分任) 支出負担行為担当官  
〇〇森林管理署長 殿

住 所 熊本市西区京町本丁200-70

代表者 株式会社 九州一林業  
代表取締役  
森 某太郎



技術提案書の提出について

令和元年8月〇〇日付けで公告のありました〇〇国有林森林整備(保育間伐(活用型))  
請負事業の受注を希望したいので、下記の技術提案書を提出いたします。

なお、予算決算及び会計令(昭和22年勅令第165号)第70条の規定に該当する  
者でないこと及び技術提案書の内容については、事実と相違ないことを誓約します。

記

- 1 企業の事業実績(別記様式2)
- 2 技術者等の経験・資格(別記様式3の1、2)
- 3 企業の信頼性・企業の地域貢献(別記様式4の1、2)
- 4 事業期間の設定(別記様式5)
- 5 工程管理(別記様式6)
- 6 自然環境等への配慮(課題への対応)(別記様式7)
- 7 労働災害防止の取組(別記様式8)
- 8 一貫作業における効率化の工夫の取組【一貫作業の場合】(別記様式9)
- 9 問い合わせ先  
担当者名 : 段取 良子  
部 署 : (株)九州一林業 事業部契約課  
電話番号 : (代)000-000-0000 (内線)0000

[1/〇]

同種 (企業) の事業実績  
(事業名: ○○国有林森林整備(保育間伐(活用型))請負事業)  
会社名: (株)九州一林業

① 同種事業の実績	事業名	○○国有林森林整備(保育間伐(活用型))請負
	発注機関名	○○森林管理署
	場所	○○県○○市○○町○○国有林800い林小班外
	契約金額	21, 060, 000円
	事業期間	自 平成28年 5月21日 ~ 至 平成29年 1月28日
	受注形態等	<input type="checkbox"/> 単体 / <input checked="" type="checkbox"/> JV (JV 名称: くまろ共同事業体 構成企業名: (株)ま産業 (株)九州一林業 (有)鐘山造林) ※該当項目にレ印を付ける (JVの場合は、名称、構成企業名を記載する。)。
作業種等 (規模等)	保育間伐 44.80ha C材集造材 260m <sup>3</sup> 集造材 820m <sup>3</sup> C材山元巻立 260m <sup>3</sup> 山元巻立 10m <sup>3</sup> 封印発送 810m <sup>3</sup> ※作業内容、事業量等を記載する。	
※1 同種事業は入札公告を熟読のうえ、平成15年4月1日以降(過去15年間)に完成、引き渡し完了した同種事業の実績の中から代表的なもの1件について記載すること。 ※2 実績として記載した事業に係る契約書等の写し(事業名、事業期間、発注機関、社印を有する部分及び設計図書等で事業内容が確認出来る資料。下請を実績として記載した場合は、元請事業体と交わした契約書又は発注者が発出した下請承諾書等の写し)を添付すること。		
② 事業成績評定 (過去2カ年度)	(別紙様式3のとおり)	
③ 表彰実績 [表彰名・事業名] (表彰者・年月日)	[表彰名: 国有林間伐推進コンクール 事業名: 東西系搬出部門] (表彰者: 九州森林管理局長 年月日: 平成30年3月6日) ※1 過去10年間(年度単位)の表彰実績を一つ記載する。 ※2 表彰状の写しを添付する。	
④ 地理的条件	事業実行地と同一県又は隣接県での本店、支店又は営業所の所在地の有無(該当項目にレ印を付ける) <input checked="" type="checkbox"/> 有 本店、支店又は営業所等所在地: 熊本県 <input type="checkbox"/> 無	
⑤ 低入札の有無	過去1年以内(年度単位)に低入札の調査対象となったことがあるか。(該当項目のどれか一つにレ印を付ける) <input type="checkbox"/> 調査対象となった事業の事業成績評定点がすべて85点以上である。(※該当の場合は、低入札となった事業の事業成績評定通知書の写しを添付する) <input type="checkbox"/> 調査対象となり、かつ、いずれかの事業成績評定点が85点未満である。(※該当の場合は、低入札となった事業の事業成績評定通知書の写しを添付する。) <input checked="" type="checkbox"/> 該当無し(調査対象となっていない。)	
備考	その他特記事項:	

(注) 1. ③表彰実績④地理的条件⑤低入札の有無については、総合評価落札方式に限り記載すること。  
2. 記載内容が多くなる場合は、様式が複数枚に及んでも差し支えない。

## (記載例)

## 過去2年度の事業成績評定点一覧表

会社名:(株)九州一林業

事業名	発注機関	完了検査年月日	事業成績評定点	備考
〇〇国有林森林整備(保育間伐【活用型】)	〇〇森林管理署	平成28年 5月20日	75 点	
〇〇国有林森林整備(保育間伐【活用型】)	〇〇森林管理署	平成29年 5月9日	88 点	
〇〇国有林森林整備(誘導伐・密着造林)	〇〇森林管理署	平成29年 9月5日	77 点	
			点	
			点	
			点	
			点	
			点	
			点	
			点	
合 計			評定点計(a) 240 点	契約件数(b) 3 件
平均評定点 (a÷b)			80.0 点	

※1 森林管理署長等から受注した事業で入札公告日の属する年度の前年度及び前々年度の2年間に完了した同種事業のうち事業成績評定が行われた全ての事業について記載し、平均評定点を算出すること。

※2 記載した全ての事業について、事業成績評定通知書の写しを添付すること。なお、共同事業体での実績の場合は、契約書の写しも添付する。

※3 欄が不足する場合は、適宜欄を追加する。これにより本様式が複数枚に及んでも差し支えない。

別記様式2①同種事業の実績 添付資料例(契約書)

## 森林整備事業(保育間伐【活用型】)請負契約書

1. 事業名、請負物件、契約面積、請負予定数量、請負予定単価、請負予定金額、事業場所及び生産完了検査場所

事業名	請負物件	契約面積	請負 予定数量	請負 予定 単価	請負予定金額	事業 場所	生産完了 検査場所
保育間伐 集造材外	スギ外 スギ外	44.80 ha 記番別作業 内訳書のと おり	作業工程別 数量内訳書 のとおり	円	請負金額 21,060,000円也 (うち取引に係る消費税及び地 方消費税額1,560,000円也)	〇〇国 有林 800 い林小 班外	

(注) 「取引に係る消費税及び地方消費税額」は、消費税法第28条1項及び29条並びに地方消費税法第72条の82及び第72条の83の規定に基づき算出したもので、請負金額に8/108を乗じて得た額である。  
[ ( ) の部分は、請負者が課税対象者である場合に使用する。 ]

2. 事業期間

自 平成 28年 5月 21日  
至 平成 29年 1月 28日

3. 選択条項 別冊約款中选择される条項は次のとおりである。  
(選択されるものは○印、削除されるものは×印)

適用削除の区分	選択事項	選択条項
×	契約保証金の納付	第4条第1項第1号
×	契約保証金の納付に代わる担保となる有価証券等の提出	第4条第1項第2号
×	銀行、甲が確実に認める金融機関等の保証	第4条第1項第3号
×	公共工事履行保証証券による保証	第4条第1項第4号
×	履行保証保険契約の締結	第4条第1項第5号
○	支給材料及び貸与品	第15条
○	部分払	月1回以内 第34条
×	前金払	分の 以内 第36条第1項
×	中間前金払	第36条第3項

4. 支給材料及び貸与物件

品名	品質規格	数量	引渡予定箇所	引渡予定日
封印ペンチ		1ヶ	〇〇森林管理署	契約日
封印鉛		100個	〃	〃
鋼線		1巻	〃	〃
発送検知野帳		2冊	〃	〃

5. 特約事項

上記請負事業につき、発注者と請負者は、各々の対等な立場における合意に基づいて、本契約書及び平成27年4月10日に交付した国有林野事業製品生産請負事業請負契約約款、平成27年5月20日に交付した造林事業請負標準仕様書及び製品生産標準仕様書によって公正な請負契約を締結し、信義に従って誠実にこれを履行するものとする。

また、請負者が共同事業体を結成している場合には、請負者は、別紙共同事業体協定書により契約書記載の業務を共同連帯して実施する。

本契約の証として本書2通を作成し、双方記名押印の上、各自1通を保有する。

平成 28年 5月 20日

発注者（甲） 住 所 熊本県熊本市西区京町400-500  
分任支出負担行為担当  
〇〇森林管理署長 〇〇 〇〇 印

請負者（乙） 住 所 熊本県熊本市西区京町本丁100-100  
くま九緑共同事業体

代表者 熊本県熊本市西区京町本丁100-100  
株式会社 くま産業  
代表取締役 一二 三四郎 印

住 所 熊本県熊本市西区京町本丁200-700  
株式会社 九州一林業  
代表取締役 森 某太郎 印

住 所 熊本県熊本市中央区京町200-100  
有限会社 緑山造林  
代表取締役 緑山 紅子 印

## 記 番 別 作 業 内 訳 書

林小班	作業種	区域面積	控除面積 (除地等)	契約面積	作業期間		間伐目安 ha 当たり本数	備 考
					自	至		
800 い	保 育 間 伐	24.02		24.02	H27 5.21	H28 1.28	ス ギ 460 ヒノキ 380	別紙1仕様書 (切捨) のとおり
800 ろ	保 育 間 伐	23.35	7.04	16.31	"	"	ス ギ 458 ヒノキ 480	別紙2仕様書 のとおり
800 は	保 育 間 伐	6.07	1.60	4.47	"	"	ス ギ 469 ヒノキ 505	"
計		53.44	8.64	44.80				

## 作 業 工 程 別 数 量 内 訳 書

材種	作業工程	細 目	数 量	備 考
素材	集造材		820 m3	
	山元巻立	機械巻立	10 m3	
	C材集造材		260 m3	
	C材山元巻立	機械巻立	260 m3	
	封印発送		810 m3	

**別記様式 2 ①同種事業 実績添付資料例（事業成績評定通知書写し）**

（注：事業評定通知書がない同種事業実績を示す資料には、契約書のほか事業が完了したことを示す発注者からの「合格通知書」等を添付すること。

なお、この事例では、29年度に事業成績評定を受けたものであるので、別記様式 2 ②の事業成績評定（過去2カ年度）の資料としても併用する。）

28〇署第120-16号  
平成29年 1 月 29 日

熊本市西区京町本丁 1 0 0 - 1 0 0  
くま九緑共同事業体  
代表者 (株) くま産業 代表取締役 一二 三四郎 殿

〇〇森林管理署長  
〇〇 〇〇

印

事業成績評定通知書

あなたが受注した下記の事業について、国有林野事業の素材生産及び造林事業成績評定要領（平成20年 3 月 31 日付け 19林国業第244号）に基づき評定した結果を通知します。

なお、本通知を受けた日の翌日から14日以内に、当職に対してその疑問の旨を付した書面を下記の「5 書面の送付先」へ提出し、説明を求めることができます。回答は、書面により通知します。

記

- 1 事業名 〇〇国有林森林整備（保育間伐【活用型】）請負事業
- 2 事業期間 自：平成28年5月21日 至：平成29年1月28日
- 3 完了検査 平成29年 1 月 12 日
- 4 評定点

評価対象林小班	作業区分	現場代理人氏名	評定点	備考
〇〇国有林800い外	保育間伐	足腰 強	76	
〇〇国有林800ろ外	保育間伐	大木 幹太	74	
〇〇国有林800は外	保育間伐	緑山 青助	75	
総合評定点（平均点）			75	

注：（ ） 書きは評定点が修正された場合

- 5 書面の送付先

〒000-0000  
熊本県熊本市西区京町400-500  
〇〇森林管理署 総括森林整備官

- 6 手続きの問い合わせ先

〇〇森林管理署 総括森林整備官  
TEL000-000-0000

別記様式 2 ②事業成績評定（過去 2 ヶ年度）添付資料例  
（注：単体での契約実績の場合は、事業評定通知書のみを添付。）

29〇署第10-2号  
平成29年10月11日

熊本市西区京町本丁200-700  
（株）九州一林業  
代表取締役 森 某太郎 殿

〇〇森林管理署長  
〇〇 〇〇

印

事業成績評定通知書

あなたが受注した下記の事業について、国有林野事業の素材生産及び造林事業成績評定要領（平成20年3月31日付け 19林国業第244号）に基づき評定した結果を通知します。

なお、本通知を受けた日の翌日から14日以内に、当職に対してその疑問の旨を付した書面を下記の「5 書面の送付先」へ提出し、説明を求めることができます。回答は、書面により通知します。

記

- 1 事業名 〇〇国有林森林整備事業（保育間伐【活用型】）請負
- 2 事業期間 自：平成29年5月10日 至：平成29年12月16日
- 3 完了検査 平成29年10月3日
- 4 評定点

評価対象林小班

備考

	作業区分	現場代理人氏名	評定点	備考
〇〇国有林700と外	保育間伐	山川 谷夫	88	
総合評定点（平均点）				
注：（ ）書きは評定点が修正された場合			88	

- 5 書面の送付先

〒000-0000  
熊本県熊本市西区京町400-500  
〇〇森林管理署 総括森林整備官

- 6 手続きの問い合わせ先

〇〇森林管理署 総括森林整備官  
TEL000-000-0000

別記様式2 ②事業成績評定添付資料例（事業成績評定通知書）

（注：共同事業体での実績であるため、事業評定通知書に加え、契約書を併せて添付すること。）

29〇署第130-10号  
平成30年2月7日

熊本県熊本市西区京町200-100  
緑九林業共同事業体  
代表者 （有）緑山造林 代表取締役 緑山 紅子 殿

〇〇〇〇森林管理署長  
〇〇 〇〇

印

事業成績評定通知書

あなたが受注した下記の事業について、国有林野事業の素材生産及び造林事業成績評定要領（平成20年3月31日付け 19林国業第244号）に基づき評定した結果を通知します。

なお、本通知を受けた日の翌日から14日以内に、当職に対してその疑問の旨を付した書面を下記の「5 書面の送付先」へ提出し、説明を求めることができます。回答は、書面により通知します。

記

- 1 事業名 〇〇〇〇国有林森林整備事業（誘導伐：密着造林）請負
- 2 事業期間 自：平成29年9月6日 至：平成30年3月10日
- 3 完了検査 平成30年2月1日

4 評定点

評価対象林小班	作業区分	現場代理人氏名	評定点	備考
〇〇〇〇国有林100に外	素材生産	杉林 守	75	
〇〇〇〇国有林100に外	植付	緑山 青助	79	
総合評定点（平均点）			77	

注：（ ）書きは評定点が修正された場合

5 書面の送付先

〒000-0000  
〇〇県〇〇市〇〇町700-800  
〇〇〇〇森林管理署 総括森林整備官

6 手続きの問い合わせ先

〇〇〇〇森林管理署 総括森林整備官  
TEL000-000-0000

**別記様式2 ②事業成績評定 添付資料例(契約書)**

(注:共同事業体での実施の場合は、事業成績評定通知書のみでなく、契約書も添付すること。)

## 森林整備事業請負契約書

- 1 事業名 ○○○○国有林森林整備（誘導伐：密着造林型）事業請負
- 2 履行場所 ○○○○国有林 100に林小班外2
- 3 事業内容 誘導伐作業 面積 5.50ha  
伐倒 2,300m<sup>3</sup>  
予定数量 集造材 1,810m<sup>3</sup>  
C材等未利用材を含む（205m<sup>3</sup>）  
植付作業 5,50ha  
獣害防止ネット設置 2,900m
- (別紙、記番別作業内訳書、作業工程別数量内訳書、作業内訳書のとおり)
- 4 事業期間 平成29年 9月 6日 から  
平成30年 3月 10日 まで  
(ただし、作業別又は箇所別の事業期間は、別紙、記番別作業内訳書、作業内訳書のとおり)
- 5 作業仕様 別冊、作業仕様書のとおり
- 6 請負金額 金 16,200,000円  
(内取引に係る消費税及び地方消費税の額 金1,200,000円也)
- 7 選択条項  
別冊約款中選択される条項は次のとおりであるが、そのうち適用されるものは○印、適用されないものは×印である。

適用削除の区分	選 択 条 項	
×	契約保証金の納付	第4条第1項第1号
×	契約保証金の納付に代わる担保となる有価証券等の提出	第4条第1項第2号
×	銀行、甲が確実と認める金融機関等の保証	第4条第1項第3号
×	公共工事履行保証証券による保証	第4条第1項第4号
×	履行保証保険契約の締結	第4条第1項第5号
○	支給材料及び貸与品	第15条
○	部分払 (作業期間中 6回以内とする)	第34条
×	前金払 請負金額の /10以内とする	第36条第1項
×	中間前金払 請負金額の /10以内とする	36条第3項

8 支給材料及び貸与物件

品名	品質規格	数量	引渡予定箇所	引渡予定日
封印ペンチ		1ケ	当該事業箇所	着手日
ペンチ		1ケ	〃	〃
鉛		181個	〃	〃
鋼線		1巻	〃	〃
発送検知野帳		1冊	〃	〃

- 9 特約事項 (1) 当該契約に係る技術提案については、別冊のとおり。  
 (2) 「特約条件」のとおり。(使用する材料は、別紙、特約事項内  
 訳書のとおりとし、請負者が購入する)

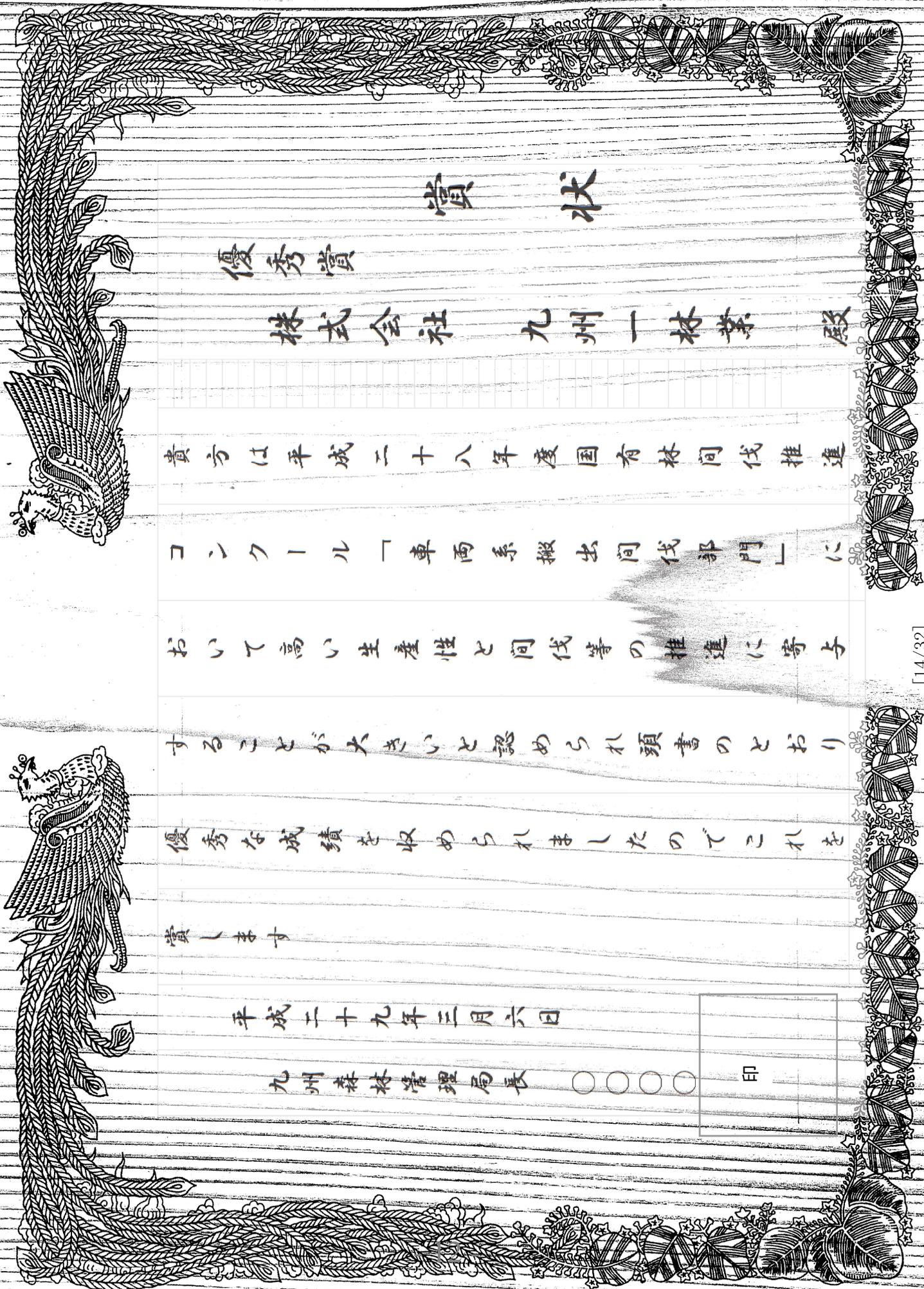
上記の事業について、発注者 分任支出負担行為担当官 ○○○○森林管理署長 ○○○○と 請負者 緑九林業共同事業体 代表者有限会社緑山造林 代表取締役 緑山紅子は、各々の対等な立場における合意に基づいて、本契約書及び平成29年7月14日に交付した国有林野事業製品生産請負事業請負契約約款、国有林野事業造林事業請負契約約款、及び平成29年9月5日に交付した製品生産事業請負標準仕様書、造林事業請負標準仕様書によって公正な請負契約を締結し、信義に従って誠実にこれを履行するものとする。

また、請負者が共同事業体を結成している場合には、請負者は、別紙、共同事業体協定書により契約書記載の事業を共同連帯して請け負う。

本契約の証として本書2通を作成し、当事者記名押印の上、各自1通を保有する。

平成29年 9月 5日

発注者 (甲)	住所	○○県○○市○○町700-800 分任支出負担行為担当官 ○○○○森林管理署長 ○○ ○○	印
請負者 (乙)	住所	熊本県熊本市西区京町200-100 緑九林業共同事業体	
	代表者	熊本県熊本市西区京町200-100 有限会社 緑山造林 代表取締役 緑山 紅子	印
	住所	熊本県熊本市西区京町本丁200-700 株式会社 九州一林業 代表取締役 森 某太郎	印



# 賞 状

## 優秀賞

### 株式会社 九州一林業 殿

貴方は平成二十八年度国有林間伐推進

コンクール「車両系搬出間伐部門」に

において高い生産性と間伐等の推進に寄与

することが大きいと認められ頒書のとおり

優秀な成績を収められましたのでこれを

賞します

平成二十九年三月六日

九州森林管理局長



印



技術者等の経験・資格

(事業名：〇〇国有林森林整備(保育間伐(活用型))請負事業)

会社名：九州一林業

①配置予定 現場代理人氏名		大木 幹太		
生 年 月 日		昭和40年1月1日		
最 終 学 歴		一流大学 経済学部 昭和63年度卒業		
法令による資格・免許		技術士(補)、林業技士(習得年月日、部門及び選択科目)		
② 配置 予定 現場 代理人 の 事業 経験 の 概要	事 業 名	〇〇国有林森林整備(保育間伐(活用型))請負事業		
	発 注 機 関 名	〇〇森林管理署		
	場 所	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇国有林800い林小班外		
	契 約 金 額	21,060,000円		
	事 業 期 間	自 平成28年5月21日 ~ 至 平成29年1月28日		
	受 注 形 態 等	<input type="checkbox"/> 単体 / <input checked="" type="checkbox"/> JV (名称：ほ九緑共同事業体 構成企業名：(株)ほ産業, (株)九州一林業 (有)緑山造林) ※該当項目にレ印を付ける。(JVの場合は、名称、構成企業名を記入する。)		
	従 事 役 職	<input checked="" type="checkbox"/> 現場代理人 / <input type="checkbox"/> 一般作業手 (3カ年の事業経験必須) ※該当項目にレ印を付ける。		
	内 容	作業種	保育間伐 44.80ha      C材集造材 260m <sup>3</sup> 集造材 820m <sup>3</sup> C材山元巻立 260m <sup>3</sup> 山元巻立 10m <sup>3</sup> 封印発送 810m <sup>3</sup>	
	配置予定現場代理人の事業経験を示す資料は、別記様式2の同種事業の実績に添付した契約書及び事業成績評定通知書のとおりである。  ※作業内容、事業量等を記載する。			
	※1 現場代理人が当該事業に従事したことが確認できる書類(森林管理署等及び、契森林管理署等以外の国の機関又は地方自治体と締結した契約書の写し及び、発注者に提出している現場代理人の届出書等の写し)を添付する。 ※2 現場代理人の経験がない者を予定する場合は、同種事業に3カ年従事した経験を有することが確認できる書類(森林管理署等及び森林管理署等以外の国の機関又は地方自治体と締結した契約書の写し及び、当該事業に従事した作業員名簿等の写し等を添付する。)			
③申請 時にお ける他 事業の 従事状 況等	事 業 名	平成30年度県有林間伐事業		
	発 注 機 関 名	〇〇県 〇〇地域振興局 林務課		
	事 業 期 間	自 平成31年1月23日 ~ 至 令和元年6月20日		
	従 事 役 職	現場代理人		
	本事業と重複する場合の 対応措置	重複事業の履行期限が6月30日であるが、5月末には事業完了予定であり、別記様式6の事業計画のとおり6月上旬から現場代理人として従事可能である。		

(注) 配置予定現場代理人が複数の場合は、現場代理人ごとに本様式を作成する。

[〇/〇]

(技術者等の経験・資格)

会社名：(株)九州一林業

④有資格者の状況

氏名	資格の種類		
	技術士(※1)	技術士補(※1)	林業技士(※2)
森 某太郎			○(林業経営)

※1 技術士、技術士補は、森林部門及び環境部門が対象。  
 ※2 林業技士は、林業機械部門、林業経営部門、森林環境部門、作業道作設部門が対象であり、これ以外を対象外。  
 ※3 該当する資格を有する者（代表者など事業実行に当たり指導的立場に有る者を含む。）について、氏名及び該当する資格欄に○印を付ける。（記載した有資格者は社員であることが確認できること。）  
 ※4 該当する資格者の資格を証明できる書類（免許証等の写し）を添付する。

⑤研修等の受講状況

氏名	研修の種類			
	低コスト作業システム研修又は低コスト作業路技術者養成研修(※1)	森林作業道指導者研修(上級・中級)又は高度架線技能者育成研修(集材機)(※2)	森林作業道作設オペレーター研修(初級)又は高度架線技能者育成研修(タワーヤード)(※2)	低コスト作業システム等の研修(※3)
大木 幹太		○		
山川 谷夫	○			

※1 低コスト作業システム研修又は低コスト作業路技術者研修は、林野庁森林技術総合研修所実施の研修が対象。  
 ※2 森林作業道指導者研修(上級・中級)、森林作業道オペレーター研修(初級)、高度架線技能者育成研修(集材機・タワーヤード)は、「先進林業機械導入・オペレーター養成促進緊急対策事業及び森林作業システム高度技能者育成事業(林野庁補助事業)」に基づき、(一社)フォレスト・サーベイが実施する研修が対象。  
 ※3 低コスト作業システム等の研修は、地方自治体及び、大学実施の研修が対象。  
 ※4 該当する研修受講者について、氏名及び該当する研修欄に○印を付け、研修の受講を証明できる(終了証書等の写し)を添付する。  
 (※上記以外で都道府県、林業関係団体等が実施する研修は対象外。)

⑥配置予定現場代理人等の継続教育(CPD)の有無

氏名	造林・素材生産に係る専門分野を含む専門分野(林業領域)の取得ポイント	造林・素材生産に係る専門分野を含む専門分野以外の専門分野の取得ポイント
大木 幹太	累計 22.0 ポイント	累計 1.0 ポイント

※1 配置予定現場代理人が入札日の前年度末までの3年間に(公社)森林・自然環境技術教育研究センター(平成31年3月31日までの発行機関は(一社)森林・自然環境技術者教育会(JAFEE))が実施する継続教育(CPD)を受講し、CPDポイントを取得している場合、3年間の累計ポイント数を記載する。  
 ※2 分野の区分は、森林・自然環境技術者教育会(JAFEE)の専門技術課題の項目中、「林業領域」を造林・素材生産に係る技術を含む専門分野とし、これ以外の項目を造林・素材生産に係る技術を含む専門分野以外の専門分野とする。  
 ※3 配置予定技術者に限らず、企業の代表者または事業に従事する職員の中にCPDポイント取得者がいる場合も対象とすることができる。(社員であることが確認できること。)  
 ※4 森林・自然環境技術者教育会(JAFEE)が発行する証明書を添付する。

[○/○]

登録更新番号 00/00 0000

# 林業技士登録更新証

森 某太郎

林業技士の登録更新名簿に登録  
したことを証する

登録部門	林業経営部門
初回登録年月日	昭和61年3月20日
登録更新年月日	平成25年4月1日
登録期限年月日	平成30年3月31日

↑ 期限が切れていないこと

日本森林技術協会



理事長 ○ ○ ○ ○

# 修了証書

株式会社 九州一林業

大木 幹太

あなたは平成○年度林野庁補助事業森林作業道作設オペレーターの育成対策における指導者研修の課程を修了したことを証します

平成○○年○月○日

一般社団法人フォレスト・サーベイ

代表理事 ○○ ○○ 印

# 修了証書

(平成〇〇年度第 〇〇〇〇号)

(所 属) <b>株式会社九州一林業</b>	(氏名) <b>山川 谷夫</b>
平成〇〇年度  <b>低コスト作業路技術者養成iv</b>  上記の研修を終了 したことを証する	
平成〇〇年〇〇月〇〇日  森林技術総合研修所長	〇〇 〇〇  印

森林分野 CPD 実施記録証明書

平成29年4月7日

(注)他の資料で社員であることが確認できること

CPD 会員番号：〇〇〇〇

住所： 熊本県〇〇市〇〇 〇〇〇〇

氏名： 大木 幹太 殿

あなたの森林分野 CPD 実施記録は下記の通りであることを証します。

一般社団法人 森林・自然環境技術者教育会

会長 〇〇〇〇

対象期間： 2014年04月～2017年03月

認定された CPD 時間：23.0 時間

課題別 CPD 時間

課題区分	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	合計
A 一般共通課題	0	0	0			0
B 専門技術課題	5.0	9.5	8.5			23.0
B-1 森林領域	0	0	0			0
B-2 林業領域	4.0	9.5	8.5			22.0
B-3 森林土木領域	1.0	0	0			1.0
B-4 自然環境領域	0	0	0			0
B-5 林産領域	0	0	0			0
C 関連技術課題	0	0	0			0
総計	5.0	9.5	8.5			23.0

造林・素材生産に係る専門分野を含む専門分野の取得ポイント

造林・素材生産に係る技術者専門分野以外の専門分野の取得ポイント

形態別 CPD 時間

形態区分	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	合計
I 研修会等への参加	5.0	9.5	8.5			23.0
II 論文等の発表	0	0	0			0
III 職場内研修	0	0	0			0
IV 技術指導	0	0	0			0
V 通信教育	0	0	0			0
VI その他	0	0	0			0
総計	5.0	9.5	8.5			23.0

## 企業の信頼性

会社名：(株)九州一林業

① 作業員の雇用形態・地元雇用・月給制 ※1											
No.	作業員氏名	雇用形態				地元雇用			月給制		
		直雇・ 下請別 (※2)	常雇・ 臨時別 (※3)	適否 (※4)	備考 (※5)	居住地 (※6)	適否 (※7)	備考	賃金 制度 (※8)	適否 (※9)	備考 (※10)
1	大木 幹太	直接雇用	常雇	適		〇〇市	適		月給	適	
2	山川 谷夫	直接雇用	常雇	適		〇〇町	適		月給	適	
3	杉林 守	直接雇用	常雇	適		〇〇市	適		月給	適	
4	坂道 登	直接雇用	常雇	適		〇〇市	適		月給	適	
5	朝飯前太郎	直接雇用	常雇	適		〇〇市	適		月給	適	
6	早起 三文	直接雇用	常雇	適		〇〇市	適		月給	適	
7	上下 横男	直接雇用	常雇	適		〇〇町	適		月給	適	
8	丸山 角三	直接雇用	常雇	適		〇〇町	適		月給	適	
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
合計	(A) 8			8	100%		8	100%		8	100%

※1 事業対象箇所に配置される全ての作業員(代表取締役等の経営者は除く)の雇用状況等を記載する。  
 ※2 「直接雇用・下請別」欄には、雇用形態により直接雇用者又は下請企業等の雇用者の別を記載する。  
 ※3 「常雇・臨時別」欄には、「直接雇用・下請別」欄において直接雇用者と記載した場合に限り「常雇」又は「臨時」別に記載する。  
 ※4 「適否」欄については、直接雇用者で、かつ常雇の場合に「適」と記載する。  
 ※5 備考欄には、「適否」欄において、「適」と記載した作業員数を作業員合計数で除した割合(%)を記載する。(単位以下四捨五入)  
 ※6 居住地欄には、居住している市町村名を記載する。  
 ※7 「適否」欄については、作業員のうち、発注森林管理署が所在する県内又は隣接する県内に居住している者に「適」と記載する。  
 ※8 賃金制度欄には、直接雇用で、常用雇用者について、賃金の支払方法により日給、日給月給又は月給の別を記載する。  
 ※9 「適否」欄には、月給制の場合のみ「適」と記載する。  
 ※10 備考欄には、「適」とする作業員数を「直接雇用(臨時雇用者は除く)」の作業員数で除した割合(%)を記載する。  
 ※11 欄が不足する場合は、適宜欄を追加する。これにより本様式が複数枚に及んでも差し支えない。

[〇/〇]

②伐採・造林に関する行動規範の策定状況	伐採・造林に関する行動規範を自ら策定しているか、又は所属する業界団体等が作成した行動規範等を取り入れているか ※策定した行動規範又は業界団体が作成した行動規範等の写しを添付すること。	有・無
③労働福祉の状況	林業退職金共済機構、建設業退職金共済組合又は中小企業退職金共済事業団との退職金共済契約締結の事実 ※作業員毎の退職金共済契約締結の確認できる資料（作業員毎の退職金共済手帳の写し等）を添付する。	有・無
④働き方改革の取組状況	働き方改革が閣議決定された平成30年4月以降、現場従事者の技術向上に向け、技術指導、研修会・講習会の開催・参加、資格取得への支援等へ企業としての取組の有無 ※企業として取り組んだ内容を証明できる資料（領収書等の写し等）を添付すること。	有・無
	現場作業員の休暇日数確保の取組の有無 ※就業の基本ルール(就業規則等)を添付すること。	有・無
⑤ワーク・ライフ・バランス等の推進に関する取組状況	女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の策定、えるぼし認定の有無 ※努力義務の企業（常時雇用する従業員が300人以下の企業）を対象とする。 ※認定通知書の写し、行動計画策定届けの写し等の書類を添付すること。	有・無
	次世代育成支援対策法に基づくプラチナくるみん、くるみん認定の有無 ※努力義務の企業（常時雇用する従業員が100人以下の企業）を対象とする。 ※認定通知書の写しを添付すること。	有・無
	若者雇用促進法に基づくユースエール認定の有無 ※認定通知書の写しを添付すること。	有・無
⑥不誠実な行為の有無（入札公告日の前日から過去2年間）	国有林野事業における指名停止処分の有無 有の場合の指名停止期間 年 月 日～年 月 日	有・無
⑦労働災害の有無（入札公告日の前日から過去2年間）	休業4日以上労働災害の有無	有・無
⑧労働安全対策への取組の有無	安全コンサルタントによる安全診断又はリスクアセスメントの取組の有無 ※安全コンサルタントによる安全診断の結果又はリスクアセスメント実施一覧表等の写しを添付すること。	有・無
⑨林業経営体登録の有無	「林業経営体に関する情報の登録・公表について」(H24.2.28長官通知)に基づく林業経営体名簿への登録の有無 ※認定通知書等の写しを添付すること。	有・無

[○/○]

## 企業の地域貢献

会社名：

① 国土緑化協力の 実績	分収育林、分収造林契約者の実績又は、国土緑化協力に対する農林水産省、農林水産省以外の国の機関又は地方自治体の長の表彰（感謝状を含む。）実績の有無  ※分収育林契約書、分収造林契約書、表彰状、感謝状の写し等、国土緑化協力の実績が確認できる書類を添付する。	有 無
② ボランティア活動の実績（過去2年間）	ボランティア活動に対する農林水産省、農林水産省以外の国の機関、地方自治体の長の表彰（感謝状を含む。）の実績の有無  ※1 表彰状（感謝状）の写しを添付する。このほか、森林管理署長等又は地方自治体が証明するボランティア活動がある場合も「有」とし、ボランティア活動の証明書類の写しを添付する。 ※2 なお、地元地区の公民館や自治会主催の地域ボランティア活動は対象とならない。	有 無
③ シカ被害対策活動の実績（過去2年間）	事業者が実施主体となり、国、地方公共団体等が実施するシカ被害対策活動に、ボランティアにより直接協力した実績の有無 ※1 森林管理署等国の機関、地方公共団体、又は猟友会等の証明書類若しくは、事業者としての活動状況が確認できる写真等を添付する。 ※2 なお、地方公共団体及び、猟友会等への寄付、事業者の従業員が事業者としての活動ではなく個人的に実施した活動などは対象とならない。	有 無
④ 森林経営管理法に基づく経営管理実施権の設定等	森林経営管理法に基づき市町村から経営管理実施権の設定の有無 （森林経営管理法第36条第2項の要件に適合する者として、都道府県から公表された者に限る） ※経営管理実施権配分計画の写しまたは公告の写しを添付する。	有 無
	当該都道府県の知事から森林経営管理法第36条第2項の要件に適合する者として認定の有無 ※認定通知書の写し又は公表箇所の写しを添付する。	有 無
	当該都道府県において「育成を図る林業経営体」（H30.2.6林野庁長官通知）としての選定の有無 ※県知事からの選定通知書又は「育成を図る林業経営体」として県のホームページに公表されているページの写しを添付すること。	有 無

[O/O]

別記様式4の1 ②労働福祉の状況の添付資料

※添付資料は、作業員毎の退職金共済契約が確認できること。

<b>林業</b>	<b>退職金共済手帳</b>	冊目	〇〇 冊目
(470)			
被共済者番	り 4 3 - 0 0 0 0 0	実績	
フリガナ	オオキ カンタ	引継月数	月
氏名	大木 幹太	円	目
生年月日	(昭・平) 40 年 1 月 1 日	150円	〇〇 目
手帳交付年月日	平成 〇 年 〇 月 〇 日	180円	〇〇 目
被共済者住所	〒000-0000 〇〇市〇〇町〇〇 〇〇-〇〇	230円	〇〇 目
〒170-8055 東京都豊島区東池袋1丁目24番1号 独立行政法人 勤労者退職金共済機構 林業退職金共済事業本部		300円(1)	〇〇 目
		300円(2)	〇〇 目
		300円(3)	〇〇 目
		450円	〇〇 目
		460円	〇〇 目
		470円	〇〇 目
		印	

<b>林業</b>	<b>退職金共済手帳</b>	冊目	〇〇 冊目
(470)			
被共済者番	り 4 3 - 0 0 0 0 0	実績	
フリガナ	ヤマカワ タニオ	引継月数	月
氏名	山川 谷夫	円	目
生年月日	(昭・平) 〇 年 〇 月 〇 日	150円	〇〇 目
手帳交付年月日	平成 〇 年 〇 月 〇 日	180円	〇〇 目
被共済者住所	〒000-0000 〇〇市〇〇町〇〇 〇〇-〇〇	230円	〇〇 目
〒170-8055 東京都豊島区東池袋1丁目24番1号 独立行政法人 勤労者退職金共済機構 林業退職金共済事業本部		300円(1)	〇〇 目
		300円(2)	〇〇 目
		300円(3)	〇〇 目
		450円	〇〇 目
		460円	〇〇 目
		470円	〇〇 目
		印	

<b>林業</b>	<b>退職金共済手帳</b>	冊目	〇〇 冊目
(470)			
被共済者番	り 4 3 - 0 0 0 0 0	実績	
フリガナ	スギモリ マモル	引継月数	月
氏名	杉森 守	円	目
生年月日	(昭・平) 〇 年 〇 月 〇 日	150円	〇〇 目
手帳交付年月日	平成 〇 年 〇 月 〇 日	180円	〇〇 目
被共済者住所	〒000-0000 〇〇市〇〇町〇〇 〇〇-〇〇	230円	〇〇 目
〒170-8055 東京都豊島区東池袋1丁目24番1号 独立行政法人 勤労者退職金共済機構 林業退職金共済事業本部		300円(1)	〇〇 目
		300円(2)	〇〇 目
		300円(3)	〇〇 目
		450円	〇〇 目
		460円	〇〇 目
		470円	〇〇 目
		印	

# 林業

## 退職金共済手帳

冊目

〇〇冊目

(470)

被共済者番号	り 4 3 - 0 0 0 0 0
フリガナ	サカミチ ノボル
氏名	坂道 登
生年月日	(昭・平) 40 年 1 月 1 日
手帳交付年月日	平成 〇 年 〇 月 〇 日
被共済者住所	〒000-0000 〇〇市〇〇町〇〇 〇〇-〇〇

実績	
引継月数	月
円	日
150円	〇〇日
180円	〇〇日
230円	〇〇日
300円(1)	〇〇日
300円(2)	〇〇日
300円(3)	〇〇日
450円	〇〇日
460円	〇〇日
470円	〇〇日

〒170-8055 東京都豊島区東池袋1丁目24番1号  
独立行政法人 勤労者退職金共済機構  
林業退職金共済事業本部

印

# 林業

## 退職金共済手帳

冊目

〇〇冊目

(470)

被共済者番号	り 4 3 - 0 0 0 0 0
フリガナ	アサメシ マエタロウ
氏名	朝飯 前太郎
生年月日	(昭・平) 〇 年 〇 月 〇 日
手帳交付年月日	平成 〇 年 〇 月 〇 日
被共済者住所	〒000-0000 〇〇市〇〇町〇〇 〇〇-〇〇

実績	
引継月数	月
円	日
150円	〇〇日
180円	〇〇日
230円	〇〇日
300円(1)	〇〇日
300円(2)	〇〇日
300円(3)	〇〇日
450円	〇〇日
460円	〇〇日
470円	〇〇日

〒170-8055 東京都豊島区東池袋1丁目24番1号  
独立行政法人 勤労者退職金共済機構  
林業退職金共済事業本部

印

# 林業

## 退職金共済手帳

冊目

〇〇冊目

(470)

被共済者番号	り 4 3 - 0 0 0 0 0
フリガナ	ハヤオキ ミフミ
氏名	早起 三文
生年月日	(昭・平) 〇 年 〇 月 〇 日
手帳交付年月日	平成 〇 年 〇 月 〇 日
被共済者住所	〒000-0000 〇〇市〇〇町〇〇 〇〇-〇〇

実績	
引継月数	月
円	日
150円	〇〇日
180円	〇〇日
230円	〇〇日
300円(1)	〇〇日
300円(2)	〇〇日
300円(3)	〇〇日
450円	〇〇日
460円	〇〇日
470円	〇〇日

〒170-8055 東京都豊島区東池袋1丁目24番1号  
独立行政法人 勤労者退職金共済機構  
林業退職金共済事業本部

印

# 林業

## 退職金共済手帳

冊目

〇〇冊目

(470)

被共済者 番号	り 4 3 - 0 0 0 0 0
フリガナ	ウエシタ ヨコオ
氏名	上下 横男
生年月日	(昭・平) ○ 年 ○ 月 ○ 日
手帳交付 年月日	平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日
被共済者 住所	〒000-0000 〇〇市〇〇町〇〇 〇〇-〇〇

〒170-8055 東京都豊島区東池袋1丁目24番1号  
独立行政法人 勤労者退職金共済機構  
林業退職金共済事業本部

印

実績	
引継月数	月
円	日
150円	〇〇日
180円	〇〇日
230円	〇〇日
300円(1)	〇〇日
300円(2)	〇〇日
300円(3)	〇〇日
450円	〇〇日
460円	〇〇日
470円	〇〇日

# 林業

## 退職金共済手帳

冊目

〇〇冊目

(470)

被共済者 番号	り 4 3 - 0 0 0 0 0
フリガナ	マルヤマ カクゾウ
氏名	丸山 角三
生年月日	(昭・平) ○ 年 ○ 月 ○ 日
手帳交付 年月日	平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日
被共済者 住所	〒000-0000 〇〇市〇〇町〇〇 〇〇-〇〇

〒170-8055 東京都豊島区東池袋1丁目24番1号  
独立行政法人 勤労者退職金共済機構  
林業退職金共済事業本部

印

実績	
引継月数	月
円	日
150円	〇〇日
180円	〇〇日
230円	〇〇日
300円(1)	〇〇日
300円(2)	〇〇日
300円(3)	〇〇日
450円	〇〇日
460円	〇〇日
470円	〇〇日



平成29年8月8日

〇〇森林管理署長 殿

株式会社 九州一林業  
代表取締役 森 某太郎

印

### ボランティア活動実績確認書

下記のとおり、ボランティア活動を実施したので提出します。

#### 記

- 1 活動事業名 国有林クリーン活動
- 2 活動場所 〇〇山国有林内〇〇公園周辺
- 3 活動時期 平成29年8月7日
- 4 活動内容等
  - (1) 活動内容 〇〇山〇〇公園周辺遊歩道の清掃、草刈り等
  - (2) 参加人数 8名
  - (3) 活動時間 9:00~17:00
  - (4) 使用機材 2トントラック、刈り払い機外

上記のとおり、ボランティア活動を実施したことを証明する。

平成29年8月10日

〇〇森林管理署長

印

平成29年10月24日

## 地域ボランティア活動参加証明申請書

〇〇県〇〇地域振興局  
農業振興課長 殿

株式会社 九州一林業  
代表取締役 森 某太郎

印

下記のとおり、地域ボランティア活動を実施したので参加確認の証明を申請します。

### 記

- 1 活動事業名 有害鳥獣駆除対策（シカ駆除対策）活動
- 2 活動場所 〇〇山周辺
- 3 活動時期 平成29年10月23日
- 4 活動内容等
  - (1) 活動内容 〇〇地区〇〇山周辺作業道、歩道の修理、草刈り等（シカ一斉駆除準備作業）
  - (2) 参加人数 8名
  - (3) 活動時間 9:00～17:00

上記のとおり有害鳥獣駆除対策（シカ駆除対策）として、ボランティア活動を実施したことを証明する。

平成29年11月2日

〇〇地域振興局農業振興課長 〇〇〇〇

印

## 事業期間の設定

(事業名：〇〇国有林森林整備(保育間伐(活用型))請負事業)

会社名：(株)九州一林業

- 標記の技術提案については以下のとおり提案します。なお、認められない場合には、標準案に基づき実施します。
- 標記の技術提案については以下のとおり提案します。なお、認められない場合には、入札参加を希望しません。
- 標記については、標準案に基づき実施します。  
(※ 上記項目のいずれかにレ印を付けること。)

項 目	具体的な実施方法等
〇〇について	<p>1. .... .....。</p> <p>2. .... .....。</p> <p>3. .... .....。</p>

注1 提案内容は簡潔に記載し様式1枚以内に収めること。また、参考図書を添付する場合は、A4用紙で2枚程度とする。

2 提案内容が複数枚に及ぶ場合又は、参考図書が5枚以上に及ぶ場合は、評価しない場合がある。



## 自然環境等への配慮（課題への対応）

(事業名：〇〇国有林森林整備(保育間伐(活用型))請負事業)

会社名：(株)九州一林業

- 標記の技術提案については以下のとおり提案します。なお、認められない場合には、標準案に基づき実施します。
- 標記の技術提案については以下のとおり提案します。なお、認められない場合には、入札参加を希望しません。
- 標記については、標準案に基づき実施します。
- (※ 上記項目のいずれかにレ印を付けること。)

◆ 実施上の課題	〇〇〇〇について
----------	----------

項 目	具体的な対策方法
〇〇について	1. .... ..... 2. .... ..... .....

注1 提案内容は簡潔に記載し様式1枚以内に収めること。また、参考図書を添付する場合は、A 4用紙で2枚程度とする。

2 提案内容が複数枚に及ぶ場合又は、参考図書が5枚以上に及ぶ場合は、評価の対象としない場合がある。

[〇/〇]

## 労働災害防止の取組

(事業名：〇〇国有林森林整備(保育間伐(活用型))請負事業)

会社名：(株)九州一林業

- 標記の技術提案については以下のとおり提案します。なお、認められない場合には、標準案に基づき実施します。
- 標記の技術提案については以下のとおり提案します。なお、認められない場合には、入札参加を希望しません。
- 標記については、標準案に基づき実施します。
- (※ 上記項目のいずれかにレ印を付けること。)

項 目	具体的な取組・工夫
〇〇の安全対策について	<p>1. ....</p> <p>2. ....</p> <p>3. ....</p> <p>4. ....</p>

注1 提案内容は簡潔に記載し様式1枚以内に収めること。また、参考図書を添付する場合は、A4用紙で2枚程度とする。

2 提案書が複数枚に及ぶ場合又は、参考図書が5枚以上に及ぶ場合は、評価の対象としない場合がある。

一貫作業における効率化の工夫の取組(一貫作業の場合)

(事業名：〇〇国有林森林整備(保育間伐(活用型))請負事業)

会社名：(株)九州一林業

- 標記の技術提案については以下のとおり提案します。なお、認められない場合には、標準案に基づき実施します。
- 標記の技術提案については以下のとおり提案します。なお、認められない場合には、入札参加を希望しません。
- 標記については、標準案に基づき実施します。
- (※ 上記項目のいずれかにレ印を付けること。)

項 目	具体的な取組・工夫
造林経費の削減について	<p>1. ....</p> <p>2. ....</p> <p>3. ....</p>
造林作業の省力・省略化について	<p>1. ....</p> <p>2. ....</p> <p>3. ....</p>

注1 提案内容は簡潔に記載し様式1枚以内に収めること。また、参考図書を添付する場合は、A4用紙で2枚程度とする。

2 提案書が複数枚に及ぶ場合又は、参考図書が5枚以上に及ぶ場合は、評価の対象としない場合がある。

[〇/〇]